

夢のせて

2020. 8. 5
8月号

いつもより短い夏休みに

今週の土曜日から13日間の夏休みとなります。学校が再開されてからの2か月間、子どもたちは、学校生活において様々な制限の中、手洗いやマスク、また熱中症対策の水分補給など、一人一人が考えて行動してきました。また、休校中を含め、保護者の皆様には多くのご協力をいただきまして、ありがとうございました。今年の夏休みは昨年度から続く、新型コロナウイルス感染症による影響で、非常に短くなっております。今年の夏休みは、宿題は出しません。短い期間ではありますが、自分の時間として、有意義に使ってほしいと思います。

そんな中、ご家庭で1つだけお子さんと話をさせていただきたいことがあります。私も先日ある研修会で学んだ「新型コロナウイルスの3つの顔」についてです。

① 第1の感染症は「病気そのもの」です。

ふせぐためには・・・

【手洗い・咳エチケット・人混みを避ける】など、ウイルスに立ち向かうための行動を、自分のためはもちろん、周りの人のためにもすることが大切です

② 第2の感染症は「不安と恐れ」です。

ふりまわされないために・・・

【気づく力・聴く力・自分を支える力】を高めることが大切です。自分の安全や健康のために必要なことを見極めて自ら選択しましょう。

③ 第3の感染症は「嫌悪・偏見・差別」です。

ふせぐために・・・

【確かな情報をつかむ・差別的な言動（特定の対象に対して）をしない】など感染症に対して、自分で考えるようにしましょう。治療を受けている人とその家族・高齢者・医療従事者・自宅待機している人、この事態に対応をしているすべての方を《ねぎらい・敬意》を払いましょう。

この“感染症”の怖さは、〈①病気が②不安を呼び〉→〈②不安が③差別を生み〉→〈③差別が③更なる病気の拡散につながる〉、ことです。この感染症は、まだまだ収まる気配はありませんが、一人一人ができることは多くあります。ご家庭でも今一度、新型コロナウイルスの3つの顔について話をしてみてください。よろしく願いいたします。



校長 二村 圭史

※日本赤十字社「新型コロナウイルス3つの顔を知ろう」よりイラスト付きの資料を見ることができます。

《http://jrc.or.jp/activity/saigai/news/200326_006124.html》

日本赤十字社【新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために】より

朝の検温について

保護者の皆様には、毎朝子どもたちの検温にご協力いただき、本当にありがとうございます。改めてのお願いです。まだ、毎日20名程度の子供たちが検温を忘れて登校しております。新型コロナウイルスについても、収束の兆しが見えず、この生活が通常になりつつあります。引き続き、子どもたちの検温・健康チェックカードへの記入をよろしくお願いいたします。

PTAトイレ清掃

PTA研修部を中心としたトイレ清掃が、7/3（金）と7/9（木）の2回に渡って行われました。

2日間で20名ほどの方が参加され、清掃および消毒作業にあたっていただきました。今年は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、トイレ清掃は先生が行っております。今回、トイレ清掃を行っていただき、子どもたちだけでなく、先生方も感謝しておりました。本当にありがとうございました。



学校清掃ボランティア

先日の学校だより（7/22発行）にて、「学校清掃ボランティア」を募集しましたところ、10数名の方々からご連絡をいただき、また、早速、除草作業を行っていただきました。昇降口前や児童の花壇が見違えるようにきれいになりました。本当にありがとうございました。こうした多くの保護者の方のお力添えで、学校の教育活動がスムーズに進めていくことができます。今後ともご協力よろしく申し上げます。



引き続き、学校清掃ボランティアを募集しています。

- 1 活動内容…①教室やトイレの消毒・清掃
②校内の草刈り ※草刈り機をお持ちの方大歓迎です。
- 2 活動日…原則、平日です。
※1週間のうちに1日でも構いません。また、時間も短時間でも結構です。
ご協力よろしく申し上げます。
※来校の際は、事務コーナーへお声かけください。

ボランティアを希望される方は、連絡帳にて担任へお知らせくださるか、下記連絡先にお電話をください。

共長小学校 教頭 浅井真司 電話 0562-46-5161

